

(別添) 特定小型原動機付自転車 (いわゆる電動キックボード等) の
基本的な交通ルール (R 5.7.1 から)

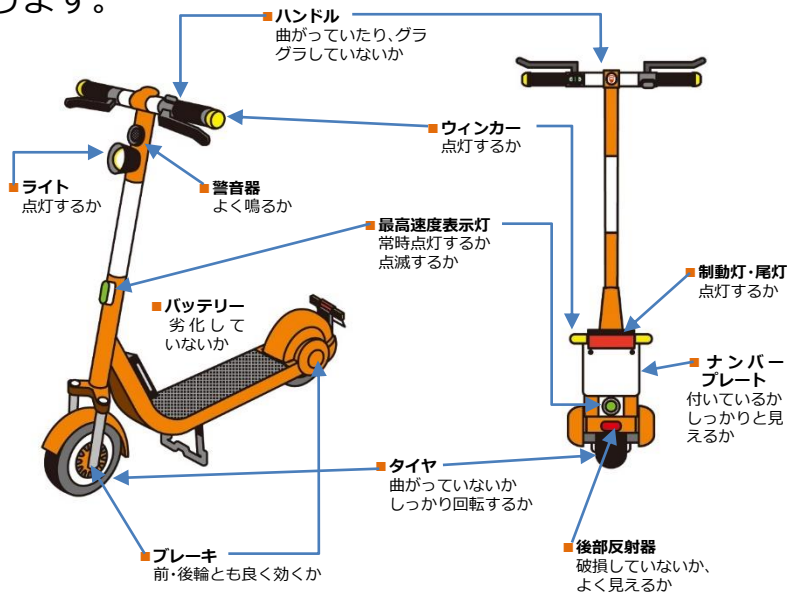
特定小型原動機付自転車の安全な乗り方

安全点検と整備に努めましょう

特定小型原動機付自転車を安全に利用するためには、自分自身で日々点検・整備しておくことが必要です。ブレーキなどは、整備をしないと効きが悪くなります。定期的な点検をしておくことが重要です。

自分で整備出来ない場合には、購入したお店等で整備しましょう。

整備不足でライトが切れたり、ブレーキが壊れたりした特定小型原動機付自転車に乗ることは違反になります。



特定小型原動機付自転車の保安基準

保安基準項目

前照灯
警音器
方向指示器
バッテリーの安全性
最高速度表示灯
※最高速度の設定に応じて、点灯・点滅が切り替わる
制動装置 ※2系統必要
後部反射器
尾灯、制動灯

接地部・接地圧	道路を破損する恐れのないこと
車体	堅牢で運行に十分耐えること
乗車装置	安全な乗車を確保できること
走行安定性	段差等を安全に走行できること
スピードリミッター	設定最高速度を超えて加速しないこと

保安基準	基準の概要
接地部及び接地圧	道路を破損するおそれのないものであること。
制動装置	2個の独立した操作装置を有し、確実かつ安全に減速及び停止を行うことができ、制動停止距離が5m以下であること。2系統以上のうち1系統は、平坦な舗装路面等で確実に特定小型原動機付自転車を停止状態に保持できること。
車体	堅牢で運行に十分耐えるものであること。乗車装置が確実に取付けられ、振動、衝撃等によりゆがみが生じないようにしていること。
安定性	安定した走行を確保できるものとして「特定小型原動機付自転車の走行安定性の技術基準」に適合すること。
前照灯	夜間前方 15mの距離の障害物を確認できること。
尾灯	夜間後方 300mから点灯を確認できること。
制動灯	昼間後方 100mから点灯を確認できること。
後部反射器	夜間後方 100mから走行用前照灯で照射した場合にその反射光を確認できること。
警音器	適当な音響を発する警音器であること（自転車に装着されるベル等でも可）。
方向指示器	車両中心線上の前方及び後方 30mの距離から指示部を見通すことができる位置に少なくとも左右 1個ずつ取り付けられていること。
速度抑制装置	速度抑制性能に関し「特定小型原動機付自転車の速度抑制装置の技術基準」に適合すること。設定最高速度が2種類以上ある場合、走行中に設定変更ができないこと。
電気装置	原動機用蓄電池は以下のいずれかの基準に適合していること。 国連規則、欧州規格、国連危険物輸送勧告、PSE マーク（電気用品安全法に基づく表示）
乗車装置	乗車人員が動揺、衝撃等により転落又は転倒することなく安全な乗車を確保できる構造であること。
最高速度表示灯	昼間前方及び後方 25m から点灯を確認できること。 車道モード：緑色点灯、歩道モード：緑色点滅

出典：資料「特定小型原動機付自転車に関する保安基準の整備等を行います！」（国土交通省・令和 4 年12月23日）

石川県警察本部